

パブリックコメントに対する加茂市教育委員会の考え方（加茂市子ども読書活動推進計画）

No.	意見等の概要	加茂市教育委員会の考え方
1	<p>① スマートホンの使い過ぎによる脳疲労などが問題となる中、素晴らしい本と出会い、読書の楽しさを知り、生涯を通じて生きる喜び、生きる力を自らのものにする事に共感する。</p> <p>② ブックトークに参加してみたいと思う。</p>	<p>ご意見をいただき、ありがとうございます。</p> <p>① 本計画(案)にご理解をいただき、重ねてお礼申し上げます。</p> <p>今後とも各機関と手を携えて読書の楽しさを伝えていきたいと思えます。</p> <p>② 現在は図書館員が学校に出向いて行っているブックトークですが、館内での実施も検討していきます。</p>
2	<p>① 子どもたちが本に触れる機会を増やしてほしいが、自動車文庫を小・中学校に運行することはできないか？</p> <p>② 図書の受け取りと返却がコミュニティセンターでできるようになるとさらに利用が増えるのでは？保護者・家族のマイカー所有の有無などで子どもたちの読書機会が減らないような対策を希望する。</p>	<p>ご意見をいただき、ありがとうございます。</p> <p>① 加茂市では、かつて昭和時代に自動車文庫を運行していましたが、現在は各学校に朝読書のためのセット図書や先生方が授業で使用する図書をその都度届ける方式を採用しています。自動車文庫には独自のメリットもあることから、今後の検討課題とさせていただきます。</p> <p>② 図書の受け取りと返却について、図書館以外の場所(コミュニティセンターや学校など)で行うことが可能かどうか、またどのような問題があるのか関係機関と協議していきます。</p>